

## 6. 本時の展開

本時の目標 運動面：走る速さとシュートの強さを調節し、リズムカルなランニングシュートができる。

：足首から手首までの一連の動作がスムーズにでき、綺麗な放物線のセットシュートができる。

集団面：仲間の姿から、励ましの声や認め合いの声を自然と出すことができ、協力して練習することができる。

条件	学 習 内 容		学 習 活 動			教 師 の 指 導		
	運 動 の 側 面	集 団 の 側 面	運 動 の 場 面	集 団 の 場 面	評 価 規 準	運 動 の 側 面 の 指 導	集 団 の 側 面 の 指 導	
計 8 分 画	めあて シュートを上手くゴールに入れるコツがわかる。	ねがい お互いに教え合い、励まし合って練習しようとする。	計画会でグル-プの「めあて」を確かめ合う。 自分への「めあて」を発表し合う。 仲間へのアドバイスや練習の方法を話し合う。	めざす仲間の姿「ねがい」を確かめ合う。 「きまり」の確認をする	思考・判断 自分の技術課題と学習課題のポイントが持てる。	めざす姿を師範したり図示したりして、イメージさせる。 シュートのポイントを確認する。(板書)	みんなができた喜びを紹介しながら、本時の目指す仲間をイメージさせる。 本時のきまりを確認する。	
展 開	前半練習 15分	ランニングをしながら、シュートをするができる。(リズムカルに)バックボードを上手く利用してシュートすることができる	みんなで声をかけあって励ますことができる。  グル-プのメンバ-の練習ぶりを見合って、教え合うことができる。  仲間の良さを認める	[場の設定] <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールつるし</li> <li>・セットシュート</li> <li>・ランニングシュート</li> <li>・ボール当ての各コーナーを設定</li> </ul> </div> シュートを繰り返しながら、問題点に気づく。 自分の課題に応じた練習をする。  目指す“シュート” ・リズムカルな助走から力強い踏み切りをする ・ゴールに向かい体を正対させ、ボールを上手くコントロールできるようにする。 ・シュートが上手く入ることを頭の中でイメージできる。  グル-プ毎に競技会を行い、運動の正確さを確かめ合う。(ル-ル：2回までシュートする)	演技をする時には、見てもらいたいポイントを語ってからはじめる。  「今、どう?」「~だったよ!」という認め合いをする。  がんばって!」「もう少し」「拍手!」などの声を掛け合う。  グル-プ内では、励まし合っていくために、グル-プメンバ-の頑張りや跳び方を見逃さないようにする。  仲間にリズムや励ましの声をかける。  グル-プ内で、競技会をしっかりと行う。  個人の良い点をみんなで見つける	技術 踏み切りとボールをはなす動作が一つの流れでできる。  ボールを正確にコントロールできる。  脚の動きからボールをはなす動作がスムーズな動きでできる。  関心・意欲・態度 仲間を観察し、励まし合い協力して取り組める。	[つまずきへの指導] ボールコントロールのできない児童には、ボールをつかむ感覚をつかませ、ボール取り方もう一度復習ささえる。 ボールがゴールに届かない児童に対しては、ゆっくり構え、ボールが手から離れる瞬間をボールの跳びだす方向性を理解しやすくしてやる。 ボールが上手く同じところに当たらない児童には、シュートの後の腕と指をねらったところに向かうように指導する。 師範、ポイントで本人のシュートホームのイメージをつかませる。 競技会中はシュートする前に、児童の意識のポイントとなるような言葉を仲間からかけさせる。「ねらいをしっかり」など	リ-ダ-を中心にグル-プ課題を意識して活動しているか確認する。 跳ぶ前には必ず声をかけさせる。 練習回数が少ない児童へは、リ-ダ-に指示したりきまりを意識させたりする。 グル-プ内の教え合いができないグル-プには、まずリ-ダ-へ指示しグル-プ会を開かせる。 シュートの場合は具体的なアドバイスの仕方を指導する。 積極的に学習している姿を認め励まし、価値づけてやる。  競技会中は、適度な緊張感を持たせ、競技の運営がスムーズにいくなような配慮をする。
	後半練習 15分	中間競技会(ゲーム形式)グループ別にシュートの入る数を競争する。 個人練習 何回もくり返してシュートすることで調子を体でつかむことができる。  グル-プで競技会を行って今日の成果を確かめることができる。	大きな声でリズムを取り合ったりしながらアドバイスすることができる  仲間に対してグル-プ内で教え合い、励ましながら練習できる。					
評 価	練習の成果を確かめ合う めあての反省をする。	きまりの点検をする。  目指す仲間になれたか確かめる。	グル-プ毎に集まって学習カードに自分の記録や反省を記入する。 練習の反省をリ-ダ-を中心に話し合う。	リ-ダ-は「きまり」を点検する。 グループで「めあて」とシュートを上手く入れるコツを発表する。	思考・判断 自分や仲間の高まりをお互い評価できる。	本時の練習でうまくシュートできるようになった児童の努力を認める。 シュートの多く入ったグル-プをほめる。	目指す仲間の姿に近づいたり達成したグル-プや個人を認め、全体の場で紹介し、ほめる。	

